

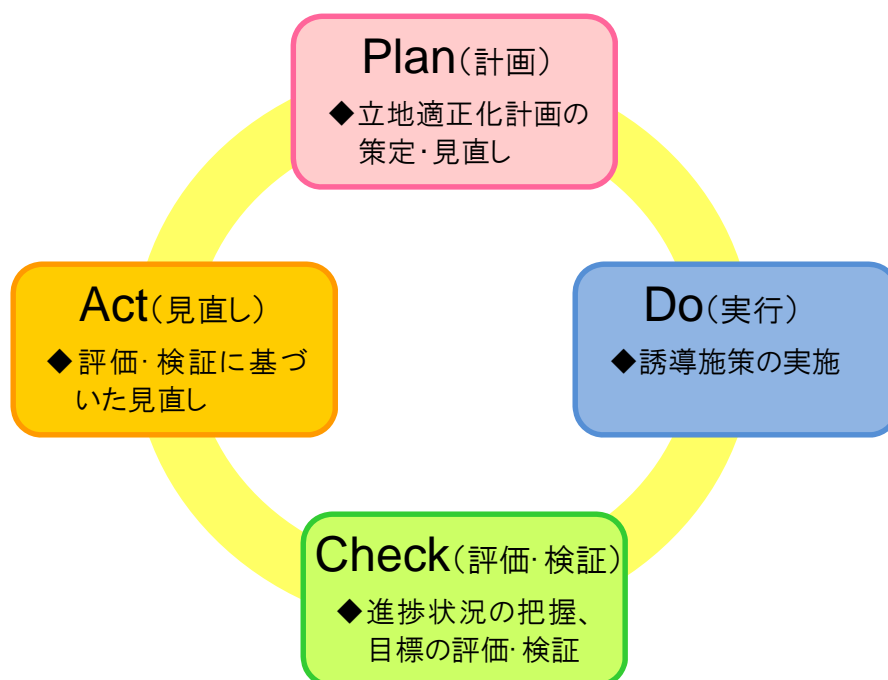
X. 計画の推進方策

1. 計画の推進方策

立地適正化計画を策定した場合においては、おおむね 5 年毎に計画に記載された施策・事業の実施状況について調査、分析及び評価を行い、立地適正化計画の進捗状況や妥当性等の精査、検討を行います。その結果や都市計画審議会における意見を踏まえ、施策の充実、強化等について検討を行うとともに、必要に応じて、適切に立地適正化計画や関連する都市計画の見直し等を行うことが望ましいとされています。

本市においては、本計画に位置づけた都市機能誘導区域及び居住誘導区域に関わる施策の進捗状況を継続的に把握するとともに、立地の適正化に関するまちづくりの目標を達成するための目標値を設定し、必要に応じておおむね 5 年毎に評価します。さらに、これらの目標値をもとに PDCA サイクルを確立し、計画を見直す必要がある場合には、適宜、立地適正化計画の見直し行っていきます。

図 X-1 計画の推進方策のイメージ



2. 目標値の設定

(1) 目標値の設定

本計画の進捗状況や施策の実施状況による効果を確認していく必要があります。計画の進捗状況を調査、分析するため目標値を設定し、概ね5年ごとに目標値の評価・分析を行っていきます。

目標値①

居住に必要な生活支援機能を持つ施設の維持、充足には居住誘導区域内の人口密度が一定以上必要となります。本市においては、現状の生活支援施設を維持、充足するために居住誘導区域内の人口密度を目標値に設定します。

表 X-1 目標値(居住誘導区域の人口密度)

目標項目	現況値 (H27)	目標値		備考
		(H39)	(H49)	
居住誘導区域の人口密度	66.4 人/ha	67.4 人/ha	67.8 人/ha	

目標値②

居住誘導施策および都市機能誘導施策を実施し、知立駅周辺の都市機能誘導区域において居住の促進、商業、業務などの都市機能の誘導等による魅力ある拠点づくりを行うため、市内、市外から知立駅を利用する乗車人員を目標値として設定します。

表 X-2 目標値(知立駅の乗車人員)

目標項目	現況値 (H27)	目標値		備考
		(H39)	(H49)	
知立駅の乗車人員	16,112 人/日	16,425 人/日	16,530 人/日	

① 居住誘導区域の人口密度

本市の平成 49 年（2037 年）の将来人口は、約 72,235 人（知立市人口ビジョン）の目標値となっており、平成 27 年 70,501 人（国勢調査）から約 1,734 人増加する値となっています。一方で社人研推計による平成 49 年の人口は約 67,806 人であり、施策を行わなければ平成 27 年から 2,695 人減少する見込となっています。

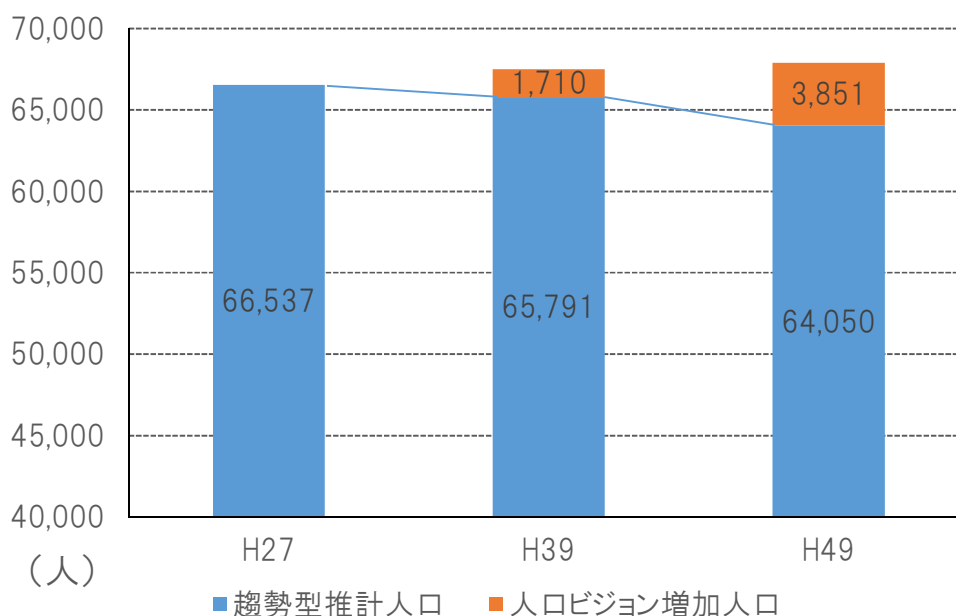
居住誘導区域内人口でみると、社人研推計値では平成 49 年に 64,050 人となりますが、居住誘導施策、都市機能誘導施策、また、市の各種施策を行うことで人口ビジョンの目標値である 67,901 人を目指していきます。

人口ビジョンの目標値を達成するためにも、まちなか居住環境整備や空き家の解消などの居住誘導施策を行い、目標年次の平成 49 年（2037 年）において居住誘導区域内人口密度 67.8 人/ha を目指します。

表 X-3 居住誘導区域内の目標人口密度

項目	面積 (ha)	平成27年 (2015年)	平成39年(2027年)		平成49年(2037年)	
			人口ビジョン	社人研	人口ビジョン	社人研
市 全 域	1,631	70,501 人	71,810 人	69,668 人	72,235 人	67,806 人
		43.2 人/ha	44.0 人/ha	42.7 人/ha	44.3 人/ha	41.6 人/ha
居住誘導区域内	1,002	66,537 人	67,501 人	65,791 人	67,901 人	64,050 人
		66.4 人/ha	67.4 人/ha	65.7 人/ha	67.8 人/ha	63.9 人/ha
居住誘導区域外	629	3,964 人	4,309 人	3,877 人	4,334 人	3,756 人
		6.3 人/ha	6.9 人/ha	6.2 人/ha	6.9 人/ha	6.0 人/ha

図 X-2 居住誘導区域内の目標人口



② 知立駅の1日あたりの乗車人員

本市の鉄道は、通勤や通学の交通手段であり、特に知立駅は名鉄名古屋本線と三河線とが結節するとともに、基幹バスやミニバスの基点となっており、市内外からの利用者が近年は増加しています。鉄道利用者数は経済状況にも左右されますが、人口の増加にもあわせて伸びている傾向も見受けられます。

市内外を問わず知立駅の利用者の増加は、都市基盤整備などの施策の際に、商業、業務などの立地を促し、中心市街地の活性化や魅力ある拠点づくりに必要な要素です。また、市民の生活に重要な役割を果たしていることから、近年の増加傾向を維持していくことを目標にし、**知立駅の1日あたりの乗車人員 16,530 人/日を目指します。**

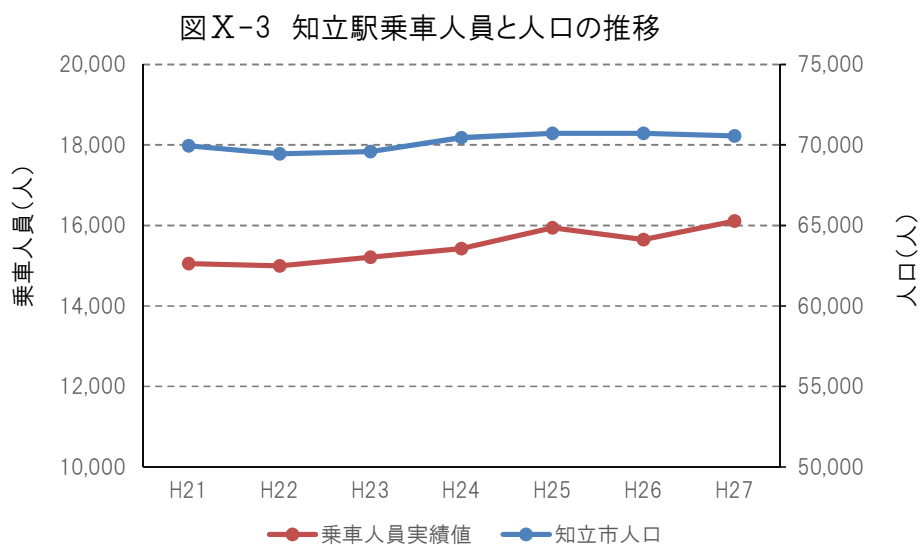
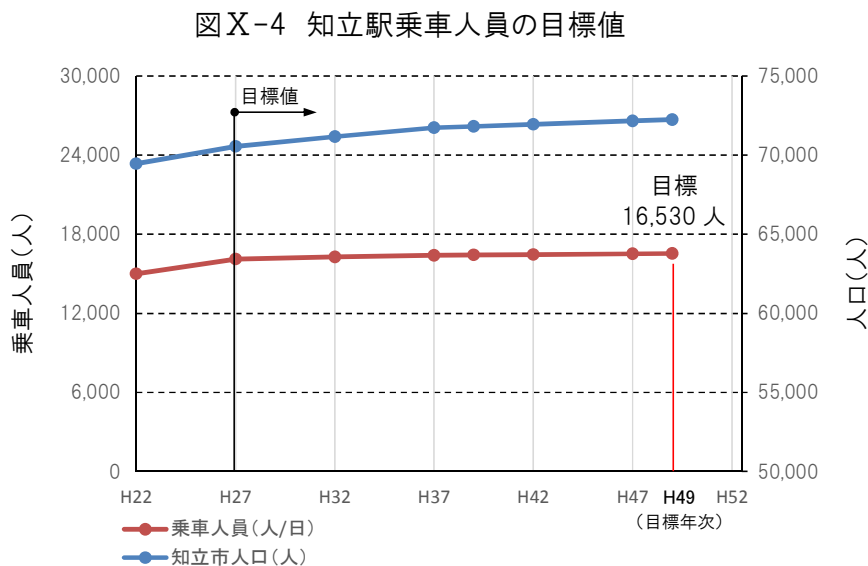


表 X-4 知立駅乗車人員の目標値

項目	実績値			推計値					
	H17	H22	H27	H32	H37	H39	H42	H47	H49
知立市人口(人)	66,493	69,455	70,555	71,167	71,722	71,810	71,942	72,164	72,235
乗車人員(人/日)	15,571	14,997	16,112	16,265	16,403	16,425	16,458	16,513	16,530

※知立市の人口及び乗車人員の実績値は知立市の統計より

※人口の推計値は人口ビジョン、乗車人員の推計値は増加人口×0.25を加算して算出



(2) 目標値の達成により期待される効果

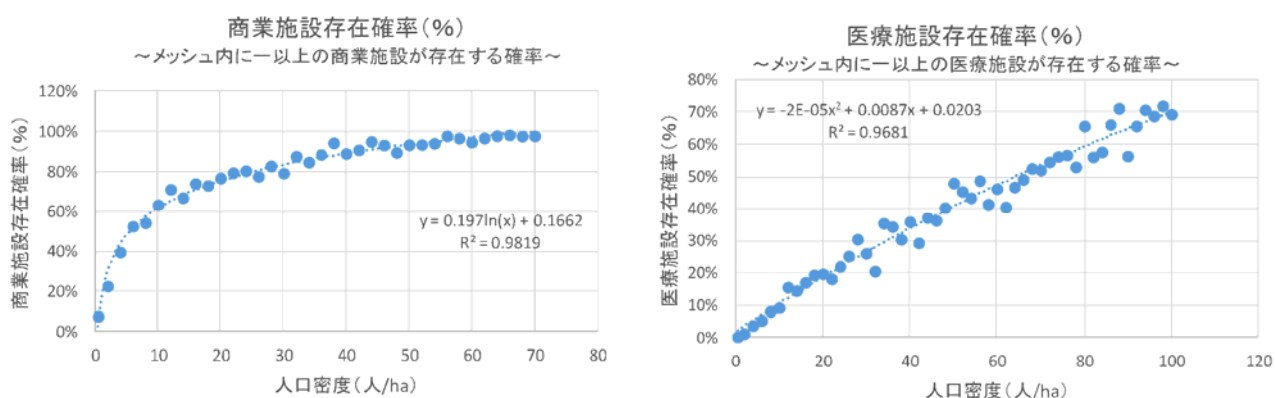
① 居住誘導区域の人口密度目標達成による効果

居住誘導区域内の人口密度を一定以上に保つことで現在立地している生活を支援する施設の存続確率が高まるとともに新たな立地を促します。本計画における居住誘導区域内人口密度を維持することにより、現存する生活支援施設数が維持され、現状の集積効果による生活利便性が維持されるという効果が期待されます。

表 X-5 居住誘導区域内の生活支援施設数

分類		施設数(現況)		施設数(将来)
居住誘導区域内人口密度		66.7人/ha		67.8人/ha
商業施設	スーパーストア	10	35	35
	コンビニエンス店	25		
医療施設		26		26
高齢者福祉施設	訪問介護施設	12	27	27
	通所介護施設	11		
	小規模多機能型居宅介護	1		
	短期入所生活介護	1		
	共同生活介護施設	1		
	特定施設入所者生活介護	1		
子育て支援施設	保育所	11	25	25
	認可外保育	2		
	幼稚園	4		
	児童館等	8		
合計		113		113

図 X-5 人口密度と生活支援施設の存在確率



(資料: 都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省 H26))

② 知立駅の1日あたりの乗車人員目標達成による効果

知立駅の利用者の増加は、市内外の通勤・通学利用に加えて市内の中心市街地での商業、業務施設、また、従業者数の増加等に波及し、中心市街地の賑わいの創出の効果があると考えられます。現在、知立市内の事業所数、従業者数ともに減少しており、その傾向は中心市街地で顕著にみられます。施策の1つでもある知立駅周辺の都市基盤整備で新たな土地利用、高度な土地利用が促されることにより、知立駅利用者の増加による効果として、事業所数・従業者数が増加し、中心市街地の賑わいの創出が期待されます。

表 X-6 都市機能誘導区域の事業所・従業者数

項目	現況値(H26)	将来値(H49)
事業所数	824 事業所	836 事業所
従業者数	8,457 人	8,539 人

※事業所数、従業者数の現況値は都市計画基礎調査より

※将来従業者数は鉄道利用者の増加分を見込み、事業所数は1事業所につき7名の従業者がいる想定